

第2回 大塚国際美術館「アートアカデミア」 アートトーク開催のお知らせ

麗しの特製スイーツ付き!

レオナルド・ダ・ヴィンチの《白貂を抱く貴婦人》 — 15世紀ルネサンス 女性肖像画の中で —

2020年4月25日(土) 14:00~15:00

講師：東京大学名誉教授/大塚国際美術館 絵画学術委員 [ルネサンス] 小佐野重利氏

大塚国際美術館(大塚一郎館長、徳島県鳴門市)は、「アートを楽しく気楽に」をコンセプトに、美術史家をはじめ、幅広い分野で活躍するその道のエキスパートを講師に迎え、シリーズでアートトークを開催しています。第2回は4月21日開幕の「白貂を抱く貴婦人」追加展示を記念し、監修の小佐野重利氏(東京大学名誉教授/大塚国際美術館 絵画学術委員[ルネサンス])に、レオナルド作品の魅力についてお話しいただきます。



西洋では15世紀半ば前から16世紀に入るころまでに、肖像画の3描写形式が出そろいます。古代ローマの貨幣に刻まれた皇帝肖像に由来する高貴なプロフィール(側面観)、現実生活の生き生きとした描写をねらう3/4正面(あるいは側面)観、神やキリストの威厳あるイメージを想起させる正面観です。

レオナルドの「白貂を抱く貴婦人」は、3/4正面観で、上体は斜めに描き、モデルの身体と心の動きを描きだしています。講演では、15世紀ルネサンスの女性肖像画を概観しながら、レオナルド作品の特異さを読み解きながら、描かれたモデルにまつわる史実についてお話しします。(小佐野重利)

「白貂を抱く貴婦人」1489-90年頃 油彩/クルミ材 54.8×40.3cm
チャルトリスキ美術館(クラクフ国立美術館分館)(ポーランド)

©The National Museum in Krakow/The Princes Czartoryski Museum ※この画像は原画を撮影したものです。

「白貂を抱く貴婦人」をイメージした 麗しの特製オリジナルスイーツ付き

「白貂を抱く貴婦人」の貴婦人の気高さと抱かれた白貂の高貴さを、レアチーズケーキやエスプーマクリームで表現。添えられたポーランドの伝統的なスイーツ「ポンチキ」は砂糖をまぶした揚げパンで、バラジャムの香りが口の中に広がります。※参加者限定



開催概要

【日時】2020年4月25日(土) 14:00~15:00(13:30開場)

【会場】大塚国際美術館 別館2階

【定員】50人(事前予約制)

【参加費】¥500(スイーツ・ドリンク代として/税込み) ※要入館料

参加費¥500は、会場入り口で直接お支払いください ※現金のみ

【申し込み】①代表者氏名 ②人数 ③連絡先 をメール info@o-museum.or.jp または電話 088-687-3737
へ4月24日17:00までにお申し込みください。

参考

レオナルド・ダ・ヴィンチ「白貂を抱く貴婦人」

レオナルド・ダ・ヴィンチが女性をモデルに描いた4点の肖像画の2作目。モデルは1489年にルドヴィーコ侯の愛妾となったチェチェリア・ガッレラーニ(当時15歳くらい)。腕に抱く白貂(冬毛のオコジョ)はギリシャ語で「ガレー」といい、彼女の苗字の語呂合わせであり、貂は「純潔と節制」のシンボルといわれます。2016年からポーランド国家の所有となり、現在チャルトリスキ美術館に所蔵されています。当館では今回の追加展示により、世界に数十点しかないレオナルド作品の11点が一堂に鑑賞できます。



チャルトリスキ美術館
©Muzeum Narodowe w Krakowie Photo:Tomasz markowski

小佐野重利(おさの しげとし)氏 プロフィール

1951年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程中退、同大学院人文社会系研究科教授、研究科長・文学部長を経て退職。イタリア連帯の星騎士・騎士勲位章(2003)およびイタリア星騎士・コメンダトーレ勲位章(2009)を受章、国際美術史学会(CIHA)前副会長。現在、東京大学名誉教授、アンブロジーナ・アカデミー(ミラノ)会員、日本学会議会員。近著『伊東マンショの肖像』の謎に迫る—1585年のヴェネツィア』(三元社、2017)、編著・浦一章監訳『オリジナルとコピー 16世紀および17世紀における複製画の変遷』(三元社、2019)、ルイーゼ・フィカッチ/小佐野重利監修(兼カタログ編集責任)『カラヴァッジョ展』(北海道新聞社、2019)など、著作・展覧会カタログ監修多数。



大塚国際美術館とは

古代壁画から現代絵画まで世界26カ国190余の美術館が所蔵する1000余点の西洋名画を、特殊技術によって陶板で原寸大に再現。レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」をはじめ、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度はご覧になられたことがある名画が一堂に展示され、日本にいながら世界の美術館を体験できます。



レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」

【住所】徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

【TEL】088-687-3737 【FAX】088-687-1117

【URL】<https://www.o-museum.or.jp/>

【開館時間】9時30分から17時(入館券の販売は16時まで)

【休館日】月曜日(祝日の場合は翌日)/1月は連続休館あり/その他特別休館あり *8月無休

【臨時休館】2020年3月4日(水)~3月31日(火) **GW** 2020年4月28日(火)~5月10日(日)まで休まず開館

【入館料】一般 3,300円 / 大学生 2,200円 / 小中高生 550円 *20人以上の団体は10%割引

【アクセス】

関東から

飛行機

羽田空港~徳島阿波おどり空港 約1時間

→路線バス「徳島空港」バス停より 約33分

新幹線

東京・品川・新横浜より新神戸 約3時間

新神戸にて高速バス乗り換え

関西から

直通バス 伊丹空港・大阪梅田・なんば・三宮より 約1時間30分~約3時間

大阪なんばOCAT/JR神戸駅より 約1時間45分/約3時間

※いずれも「大塚国際美術館前」下車

路線バス

JR徳島駅より 約52分、JR鳴門駅より 約15分

※いずれも「大塚国際美術館前」下車

※各地からのアクセスがご不明な場合はお問い合わせください。

中部地方から

新幹線

名古屋より新神戸 約1時間

新神戸にて高速バス乗り換え

周辺地図



《お問い合わせ先》大塚国際美術館 学芸部広報担当 畑中、土橋

Tel: 088-687-3737 Fax: 088-687-1117 Email: info@o-museum.or.jp

※2020年3月31日(火)まで臨時休館のため、Fax または EMail でご連絡ください。